

職人技と科学が解き明かすイチゴの遺伝と育種

柳 智博
農学部教授 農学博士
専門分野 蔬菜園芸学



主な研究テーマは以下の 4 つです.

1. 24 時間日長条件で特異的に花芽分化するイチゴ品種の育成

終夜照明条件で特異的に花芽分化する野生イチゴを見出し, 交雑によりその遺伝子を栽培品種に導入し, 育種を進めている. 平成 20 年度からは科研費の補助をいただいて研究を実施している.

2. 高次倍数性イチゴの染色体観察

従来, バラ科イチゴ属の染色体観察は不可能であるといわれてきた. しかし, 本研究室では, 平成 17 年度から取り組み, 現在八倍体イチゴの核型分析ができるまでに発展させた.

3. 日本産野生イチゴと栽培品種との雑種形成について

遺伝子組み換えイチゴの導入のためのマニュアル作りの一環として, 二倍体日本産野生イチゴと栽培品種との交雑性を研究している.

4. 高次倍数性イチゴの連鎖地図

栽培イチゴの SSR マーカを用いた連鎖地図の作成を試みている.

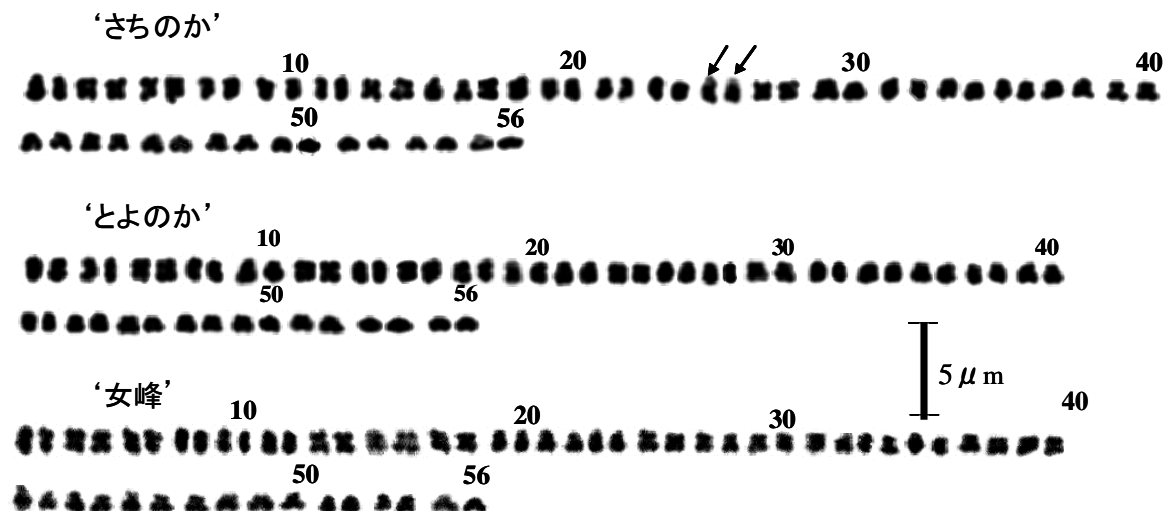


図 八倍体イチゴ品種の核型 (矢印はサテライトの位置を示す)